

# 子どもが病気になったとき



子どもの状態に合わせて迅速に動きましょう。

子どもの急な病気に親もオロオロしますが、親の都合だけでどうするかを決めていくと、親もつらくなってしまいます。その時の状況にもよりますが、できるだけ、子どもの状態を中心に考えていくことがポイントです。

子どもが病気になったら…

- ① かかりつけ医を受診しましょう。
- ② 無理をさせて、保育園に連れて行くのはやめましょう（最初が肝心!）。
  - 体調が悪い子どもにとって、集団保育は負担になります。
  - 周囲の他の子ども達へ感染症を広げてしまうことも。
  - 最初に無理をさせてこじらせてしまうと、回復が遅れることにもなりかねません。
- ③ 個別の対応でゆっくりと過ごせる環境で、みてあげることが必要です。
- ④ 回復が不完全な状態で集団保育に戻すと、ぶりかえして、また状態が悪くなることもあるので、元気になってから登園させましょう。



## まわりの力もかり、子どものケアを

子どもの状態や親の状況により選択は異なります。それぞれの状況により、ベストな対応を考えましょう。まわりの力もかり、できるだけ、子どもの状態を中心に考えましょう。

### ポイント① 親・家族の状況

● **パパ・ママの職場で看護休暇がとれる**

yes → パパかママが、看護休暇をとる。

no ↓

● **周囲に頼れる人がいる**

yes → 頼る!：入園前にお願しておきましょう。

no ↓

病児・病後児保育室等について事前に見学などをしておきましょう。

### ポイント② 子どもの状態

● **熱をだしても状態が悪い時と比較的元気な時があります**

**状態が悪い時**

→ なんとかしてパパかママがみてあげるのがベスト。

**回復まで長引きそうな時**

→ 遠方の祖父母に頼んで来てもらうのも一つの手。

子どもの状態のみきわめが大切!